



2023年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年7月27日

上場会社名 カンロ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2216 URL <https://www.kanro.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 村田 哲也
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 阿部 一博 (TEL) 03 (3370) 8811
 C F O財務・経理本部長
 四半期報告書提出予定日 2023年8月8日 配当支払開始予定日 2023年8月25日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第2四半期の業績 (2023年1月1日～2023年6月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第2四半期	14,292	18.5	1,772	72.4	1,791	66.5	1,236	69.3
2022年12月期第2四半期	12,064	23.3	1,027	133.6	1,075	133.3	730	97.3

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第2四半期	89.05	—
2022年12月期第2四半期	51.75	—

(注) 2022年7月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施したため、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第2四半期	23,620	13,578	57.5
2022年12月期	22,315	12,555	56.3

(参考) 自己資本 2023年12月期第2四半期 13,578百万円 2022年12月期 12,555百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	25.00	—	19.00	—
2023年12月期	—	20.00	—	—	—
2023年12月期(予想)	—	—	—	22.00	42.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※2022年12月期期末配当金の内訳 普通配当 14円00銭 記念配当 5円00銭 (創業110周年記念配当)

※2022年7月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しております。2022年12月期第2四半期末の1株当たり中間配当金につきましては、当該株式分割前の実際の配当金を記載し、年間配当金合計は「—」と記載しております。株式分割後の基準で換算した2022年12月期の1株当たり年間配当金は、31円50銭となります。

3. 2023年12月期の業績予想 (2023年1月1日～2023年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,700	10.3	2,450	26.7	2,470	23.4	1,680	24.8	121.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2023年12月期2Q	15,315,604株	2022年12月期	15,315,604株
2023年12月期2Q	1,393,376株	2022年12月期	1,446,176株
2023年12月期2Q	13,889,661株	2022年12月期2Q	14,114,700株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※1. 2022年7月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施したため、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

2. 期末自己株式数には、株式会社日本カストディ銀行(信託口)の保有する当社株式(2023年12月期第2四半期471,000株、2022年12月期523,800株)が含まれております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、[添付資料] 2ページ「(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料は、T D n e tで本日開示するとともに、当社ホームページにも掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	P. 3
(1) 四半期貸借対照表	P. 3
(2) 四半期損益計算書	P. 5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	P. 6
(継続企業の前提に関する注記)	P. 6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 6
(収益認識関係)	P. 6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間（以下、「当第2四半期」）におけるわが国経済は、ウィズコロナへの移行が進み、人流の拡大やインバウンド需要の回復により、景気は持ち直し基調となりました。更に、雇用・所得環境も改善し、新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ移行したことも背景に個人消費は持ち直し、景気は緩やかに回復しています。しかしながら、世界的な金融引締め継続下、海外景気の下振れが景気下押しのリスクとなっており、物価上昇や金融資本市場の変動等の動向など先行きは依然不透明な状態が継続しています。

キャンディ市場におきましては、飴カテゴリーは、人流回復による食シーンの拡大下、昨年からのオミクロン株感染拡大の影響や花粉飛散量増加により、セルフケアの高まり等からのど飴を中心に前年同期比で増加しております。また、好調なグミカテゴリーの伸長は継続しており、前年同期比で大きく増加し、キャンディ市場全体の伸びを牽引しております。

このような事業環境において、当社は企業パーパス「Sweeten the Future 心がひとつぶ、大きくなる。」の下、3ヶ年計画の2年目となる「中期経営計画2024」の3つの事業戦略（「価値創造」・「ESG経営」・「事業領域の拡大」）を着実に推し進めた結果、当第2四半期の売上高は、前年同期比22億27百万円（18.5%）増収の142億92百万円となりました。

飴は、のど飴及びZ世代向け商品を含むファンシーカテゴリーを中心に袋形態が増加すると共に、ウィズコロナへの本格移行に伴いスティック形態・コンパクトサイズ形態の需要も回復し、前年同期比11億23百万円（18.0%）増収の73億46百万円となりました。製品別では、ノンシュガーのど飴シリーズの「ノンシュガー果実のど飴」、「ノンシュガースーパーメントールのど飴」に加え、テレビコマーシャルを実施した「健康のど飴」シリーズが好調に推移しました。グミは、発売20周年の昨年に大きく伸長した主力ブランド「ピュレグミ」が、テレビコマーシャルも功を奏し販売増となり、「カンデミーナグミ」の伸びとも相俟って前年同期比11億41百万円（20.7%）増収の66億52百万円となりました。素材菓子は、前年同期比39百万円（11.8%）減収の2億90百万円となりました。一方で、急激な需要の増加への対応として増産対応に注力しておりますが、安定供給の観点から3月以降一部製品につき休売等の対応を実施しており、来年度も見据え生産体制整備への取組みを進めております。

利益面では、昨年9月から段階的に実施した価格改定に続き、3月より一部商品の価格改定及び内容量の変更を実施いたしました。継続する原材料価格の上昇により変動費率は上昇したものの、販売数量増加と生産性向上による限界利益の増加により、売上総利益は前年同期比11億47百万円（24.0%）増益の59億20百万円となりました。営業利益は、テレビコマーシャル実施による広告宣伝費の増加、人員増加等による人件費の増加に加えて、事業活動拡大への施策経費を含む一般費の増加があるものの前年同期比7億44百万円（72.4%）増益の17億72百万円となりました。経常利益は、前年の損害金収入の反動もあり前年同期比7億15百万円（66.5%）増益の17億91百万円となり、四半期純利益は、前年同期比5億6百万円（69.3%）増益の12億36百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べ13億5百万円（5.8%）増加し、236億20百万円となりました。

これは主に現金及び預金が18億18百万円、商品及び製品が2億46百万円、有形固定資産が2億19百万円増加しましたが、売掛金が9億22百万円、繰延税金資産が2億38百万円減少したことによるものです。

負債の部は、前事業年度末に比べ2億81百万円（2.9%）増加し、100億41百万円となりました。

これは主に短期借入金が5億円、買掛金が2億60百万円、未払費用が2億9百万円増加しましたが、賞与引当金が4億52百万円減少したことによるものです。

純資産の部は、前事業年度末に比べ10億23百万円（8.2%）増加し、135億78百万円となりました。

これは主に四半期純利益12億36百万円の計上と配当金2億73百万円の支払によるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年12月期の通期業績予想につきましては、2023年4月28日付「第2四半期（累計）及び通期業績予想並びに中間配当及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」で発表したとおりであります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年12月31日)	当第2四半期会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,310,808	4,129,122
売掛金	7,673,640	6,751,303
商品及び製品	774,996	1,021,290
仕掛品	14,204	98,478
原材料及び貯蔵品	380,597	387,802
その他	197,263	253,446
流動資産合計	11,351,510	12,641,443
固定資産		
有形固定資産		
建物	7,035,754	7,064,707
減価償却累計額	△4,029,677	△4,158,146
建物（純額）	3,006,076	2,906,560
機械及び装置	13,282,569	13,367,565
減価償却累計額	△9,661,698	△9,687,922
機械及び装置（純額）	3,620,870	3,679,643
土地	1,497,829	1,497,829
その他	2,785,015	2,806,338
減価償却累計額	△2,111,174	△2,163,739
その他（純額）	673,841	642,598
建設仮勘定	270,261	561,808
有形固定資産合計	9,068,880	9,288,441
無形固定資産	228,469	240,855
投資その他の資産		
投資有価証券	174,451	201,379
繰延税金資産	1,060,218	822,081
その他	431,691	426,232
投資その他の資産合計	1,666,361	1,449,694
固定資産合計	10,963,711	10,978,991
資産合計	22,315,222	23,620,435

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年12月31日)	当第2四半期会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,176,026	2,436,448
短期借入金	—	500,000
未払金	1,082,176	1,060,875
未払費用	2,225,694	2,435,611
未払法人税等	319,477	356,393
賞与引当金	904,368	451,899
役員賞与引当金	121,750	68,625
その他	378,030	226,148
流動負債合計	7,207,523	7,536,003
固定負債		
退職給付引当金	2,270,581	2,235,430
役員株式給付引当金	195,347	181,688
その他	86,744	88,413
固定負債合計	2,552,674	2,505,531
負債合計	9,760,198	10,041,534
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,864,249	2,864,249
資本剰余金	2,577,892	2,577,892
利益剰余金	7,944,113	8,907,476
自己株式	△883,467	△841,026
株主資本合計	12,502,789	13,508,593
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	52,085	70,381
繰延ヘッジ損益	148	△74
評価・換算差額等合計	52,234	70,307
純資産合計	12,555,023	13,578,900
負債純資産合計	22,315,222	23,620,435

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2022年1月1日 至2022年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自2023年1月1日 至2023年6月30日)
売上高	12,064,637	14,292,430
売上原価	7,291,526	8,372,001
売上総利益	4,773,111	5,920,428
販売費及び一般管理費	3,745,114	4,147,839
営業利益	1,027,996	1,772,589
営業外収益		
受取利息	45	27
受取配当金	2,718	3,005
損害金収入	32,161	—
売電収入	4,970	5,477
受取ロイヤリティー	579	5,399
その他	10,866	8,734
営業外収益合計	51,341	22,644
営業外費用		
支払利息	866	650
売電費用	2,682	2,802
その他	120	732
営業外費用合計	3,669	4,185
経常利益	1,075,668	1,791,047
特別利益		
投資有価証券売却益	3,605	—
特別利益合計	3,605	—
特別損失		
固定資産売却損	—	224
固定資産除却損	247	13,591
減損損失	14,323	5,206
会員権売却損	—	200
特別損失合計	14,571	19,222
税引前四半期純利益	1,064,703	1,771,825
法人税、住民税及び事業税	78,909	304,822
法人税等調整額	255,313	230,168
法人税等合計	334,222	534,991
四半期純利益	730,480	1,236,834

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

当社は、菓子食品事業の単一セグメントであり、顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、以下のとおりであります。

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
飴	6,223,450	7,346,628
グミ	5,511,223	6,652,828
素材菓子	329,964	290,898
その他	—	2,075
顧客との契約から生じる収益	12,064,637	14,292,430
外部顧客への売上高	12,064,637	14,292,430

(注) 「その他」は、食品以外の雑貨類であります。